

2025年8月28日

医薬品の適応外使用に関する情報公開

当院では以下の適応外医薬品を用いた診療を院内倫理委員会にて承認いたしました。

実施内容	カテコールアミン注射製剤の併用
実施責任者	医療法人溪和会江別病院 病院長
対象者	医師がカテコールアミン製剤の併用を必要と判断した患者様
承認日	2025年8月28日
対象期間	承認後から永続的に使用（適応症が追加されるまで）
目的・意義	<p>重症低血圧、心原性ショックといった、血圧が著しく低下し生命の危機に瀕する状態では、循環動態を維持するために、カテコールアミン製剤という薬を使用することがあります。カテコールアミン製剤には、ドパミン、ドブタミン、アドレナリン、ノルアドレナリンなどがあります。これらの薬剤は、血管を収縮させたり、心臓の収縮力を高めたりすることで、血圧を上昇させ、血液循環を改善する効果があります。しかし、ノルアドレナリンの添付文書（薬の説明書）には「他のカテコールアミン製剤と併用禁忌」と記載されています。これは、ノルアドレナリンと他のカテコールアミン製剤を同時に使用すると、過剰な血圧上昇や不整脈などの副作用が起こる可能性があるためです。</p> <p>ただし、海外の添付文書や日本の複数の診療ガイドラインには、患者さんの状態を十分に把握した上で、カテコールアミン製剤を併用することが認められています。これは、重症低血圧や心原性ショックの患者さんにとって、循環動態を維持するために、複数のカテコールアミン製剤を併用することが有効な場合があるためです。</p> <p>当院では、上記のような状況を踏まえ、医師がカテコールアミン製剤の併用が必要と判断した場合は、患者さんの状態を厳重にモニタリングしながら、慎重に併用投与を行います。</p>
想定される不利益と対策	カテコールアミン製剤を併用することで血圧上昇、頻脈、不整脈の誘発、組織血流の低下などの副作用を生じる可能性があります。循環動態を厳重に観察し、必要時は薬剤の減量や中止等で対応します。
お問い合わせ先	〒 069-0817 江別市野幌代々木町 81 番地 6 医療法人溪和会 江別病院 医療安全管理室 電話 011-382-1111 (病院代表) または、担当医に直接お申し出ください。